■□

矢臼別平和委員会事務局短信

2021.08.09　文責；中村忠士

□■

８月例会(7日)　暑い中でしたが、いろいろ協議しました

異例の暑さが続きました。例会の７日は立秋でしたが、矢臼別のＤ型ハウスは蒸し風呂のよう。汗をかきながらでしたが、活発な協議がされました。

（1）矢臼別の住人から

半月ほど前、自衛隊のトラックが道を間違えたのかピース矢臼別に入ってきた。また、マスクをしていない隊員もいたので、駐屯地に「そのようなことがないように」と申し入れをした。

（2）日米共同訓練(オリエント・シールド21)に対する抗議と監視の活動の総括をしました

（紙面の関係で別途文書にしてお知らせします。）

（3）実動対抗演習に対し、8/19・21に抗議のスタンディングをします

第６師団(仙台)1,000人と第5旅団(帯広)500人による対抗演習。陣地を守る側と攻撃する側に分かれて戦い、その「戦闘」の勝敗を250人の「訓練評価支援隊隊」が判定します。極めて実戦に近い演習であり、自衛隊をアメリカのための戦争に巻き込みアメリカ軍の一部として使えるようにする訓練です。2つの行動をとることを決めました。

①抗議のスタンディング…8/19(木)・21(土)　16：00～17：00　国道272・243交差点(温泉しまふくろうの横)　ぜひ多数お集まりください。

②陸上自衛隊に対し、抗議し中止を求める文書を送ります。

（4）「土地利用規制法」の廃止を求める学習会を開きます

矢臼別の住人の生活権、居住権を脅かし、矢臼別平和運動の弾圧につながる法律です。広範な国民の声で、発動させず廃止に追い込むため、学習会を開きます。

◆日時…10月16日(土)10：30～12：30　◆会場…別海町西公民館大集会室
◆講師…清末愛砂氏(室工大学院教授)　◆演題…日本国憲法と土地利用規制法
◆参加費…200円(会場費、資料代など)

（5）８月６日、９日に砲撃訓練を行ったことに抗議します

８月６日は広島、９日は長崎に原爆が投下され多大な犠牲と計り知れない悲しみを生んだ日。すべての国民が犠牲となった方々を追悼し、平和を祈念する大事な日です。そのような日に、大きな音をたてて戦争の訓練、砲撃訓練を行うなど言語道断。抗議文を陸上自衛隊に送ります。

第56回矢臼別平和盆おどり(8/7)、初のオンライン大会成功

７日午後６時からYou-TubeとZoomを使って配信と交流。菊池さとしさんのライブも含め懐かしい面々とも画面越しでしたが会うことができ本当に良かったです。

★　都合により平和盆おどりオンライン配信You-Tubeのアドレスが変わりました。
ご覧の節はこちらから・・・新アドレス　https://youtu.be/T9m11xuaE84